

平成22年12月28日

各 位

株式会社 三井住友銀行

日本バルカー工業株式会社の「SMB C環境配慮評価私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、日本バルカー工業株式会社（代表取締役社長：瀧澤 利一）の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じ社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価私募債」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する私募債です。

今回対象となった、日本バルカー工業株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境マネジメント」「環境負荷の把握の状況」の面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、①国内外の製造拠点で ISO14001 認証を取得され、全社的な環境経営を推進されている点、②環境負荷低減活動では、経営目標から環境負荷量を逆算のうえ生産効率を考慮した環境目標を設定し、使用エネルギー量、廃棄物排出量の低減に取り組まれている点、③海外製造拠点における天然ガス導入、個別生産ラインでの乾燥効率向上、老朽設備の入替え等、様々な取り組みをされた結果、2009年度のCO₂排出量において20%削減を達成された点等が評価されました。

三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価私募債」により、環境配慮を進める企業の取組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動を支援して参ります。



登録証例（東京/町田、タイ、中国/上海）



中国、タイの製造拠点で使用する燃料の天然ガス化

以 上